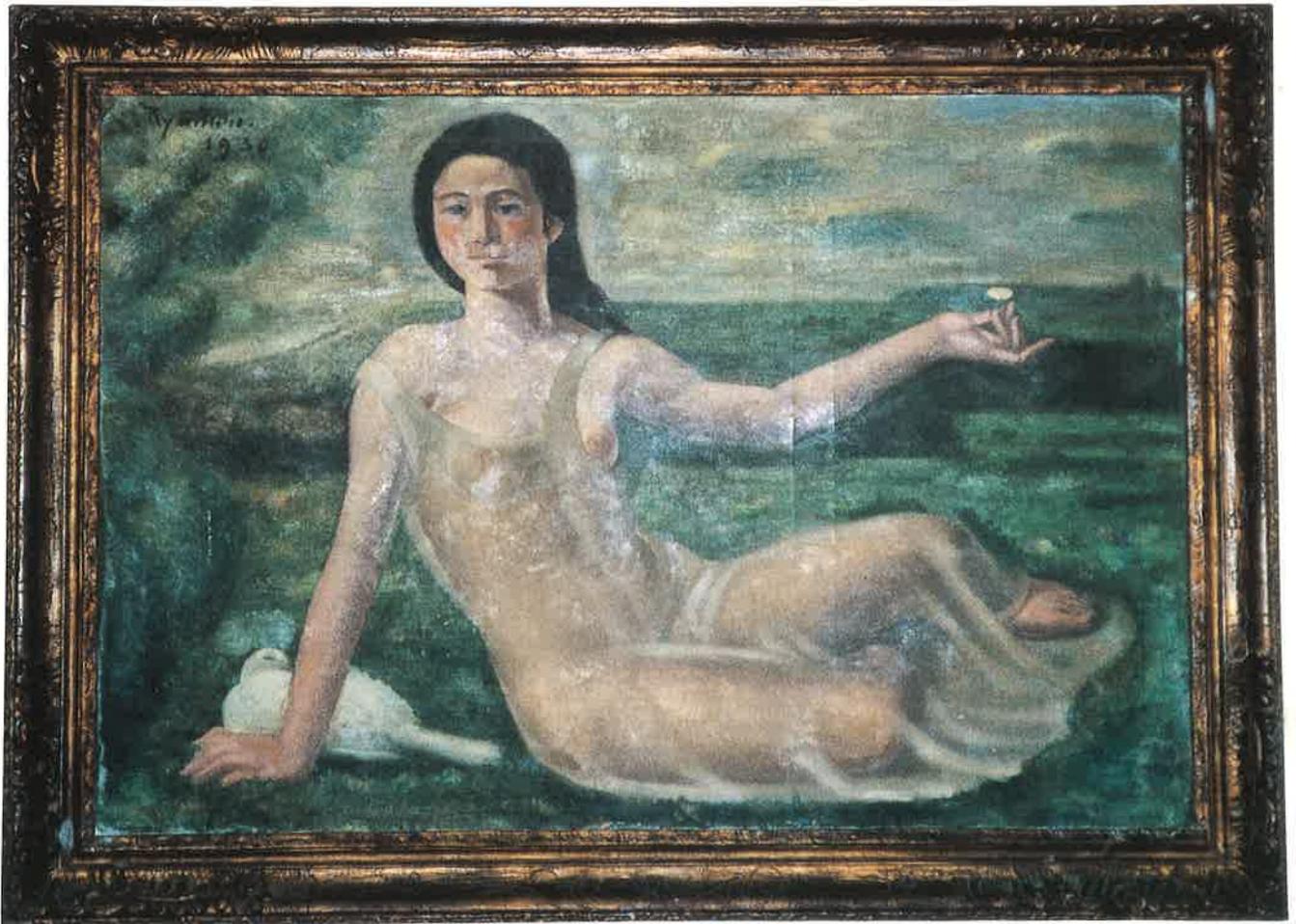




耐久高等学校同窓会報

耐久



保田龍門作「裸婦」

—— 1930(昭5)年 油彩60号 ——  
耐久高等学校所蔵

- ・ 1891(明24)～1965(昭40) 那賀郡粉河町出身
- ・ 東京美術学校(西洋画科本科)卒業(大6年)・渡仏
- ・ 院展・文展等で受賞を重ねる 日本美術院彫刻部同人
- ・ 下村観山・川端龍子・建皇大夢とともに南紀美術協会を結成するなど、洋画・彫刻と旺盛な制作活動を行う
- ・ 大阪市立美術館美術研究所教授、和歌山大学学芸学部教授を歴任

NO. 2

# 平成九年度 平成十年度 卒業式と入学式挙行さる

## 新入会員三二〇名誕生

去る三月二日(月)第五〇回全日制卒業式と第四二回定時制卒業式が厳粛な中にもユーモアと感動に満ちた形で執り行われ、卒業生・在校生・保護者に印象深いものとなりました。

特に、校長として最後の卒業式となった松野利彦前校長には感慨深いものがあつたようです。

その結果、新たに三二〇名(全日制三一四名、定時制六名)の同窓会員が誕生しました。

橋本会長は新会員の幹事と懇談会をもち、同窓会の意義や現在の活動状況、そして今後の活動予定等を話して、若い同窓会員にかけると熱き思いを語りました。



## 平成十年度入学式

去る四月九日(木)平成十年度入学式が福田行宏新校長を迎えて挙行され、新入生三二〇名(男子一六〇名、女子一六〇名)が入学を許可され、全校生徒は九五四名(男子四四四名、女子五一〇名)となりました。

新校長・新入生・新しく来られた先生、生まれ変わった図書館、新設の自転車置き場、新しい渡り廊下等で学校全体が新鮮な雰囲気になりました。

年々教育環境が整備されるべき二十一世紀に向け耐久高校は内面・外面共にいまだ大きく変わりつつあります。卒業されて五年以上の同窓諸兄弟にはその変貌振りにきつと驚かれることと思えます。

今年度中に、生まれ変わった図書館に同窓会文庫も設置される予定です。図書書を借りるついでに(同窓生に図書カードを発行してくれます)母校の変貌振りを一度ご覧下さい。



## PTA新役員決まる

五月のPTA総会にて、四年間耐久高校PTA会長として活躍された濃添吉澄氏が、みんなに惜しまれながら勇退され、新しく伏木建氏(高18期)が会長として就任、他の新役員も夫々決定されました。

伏木新会長は「今日までのPTA活動の上に更に発展させた形の独創的な活動をしていきたい。」と抱負を語り、「例えば同窓会と協賛の形で生徒のためになるイベントが考えられないものか。」等意欲的な就任挨拶で閉会しました。

## (10年度)同窓会活動計画について

記念すべき150周年を4年後にひかえ、同窓会のあり方、役割を考慮しながら一般の役員会において以下の諸活動を整理、確認しました。

クリエイティブにしかもアクティブな展開をと夢んでいます。同窓諸兄弟の更なるご理解と御協力をお願いいたします。

- ① 同窓会組織の強化
- ② 創立150周年(2002年)に向けて(同窓会館の件)
- ③ 会報の発行(2月と7月)
- ④ 「同窓会文庫」の設置とOB著書の収集
- ⑤ 会員名簿発行について(調査研究中)
- ⑥ 幹事会・評議員会の開催 その他

- 2/27 新会員の幹事と懇談会(会長)
- 3/2 第50回卒業式(会長)
- 4/3 教職員の送別会(会長)
- 6/8 同窓会役員会
- 6/20 新旧校長・事務長歓迎会(全役員)
- 7/11 県同窓会総会(会長他2名)

〔経過〕

<p><b>小川産業株式会社</b></p> <p>代表取締役 小川 禎一 (高4期)</p> <p>奈良市学園緑ヶ丘2丁目11-11 TEL. (0742)44-5072</p>	<p>創業160余年—— 安心出来る店</p> <p><b>山下ぶつだん店</b></p> <p>山下正晃 (高10期)</p> <p>湯浅町南かじや町 TEL/FAX 62-2901</p> <p><b>(有)ササキのたまご</b></p> <p>代表取締役 佐々木 哲生 (高19期)</p> <p>本社〒643-0101和歌山県有田郡吉備町徳田1330 TEL.(0737)52-6151 FAX.(0737)52-7023</p>	<p>●クエ・カニ・活魚料理 他</p> <p>●アルカリ性単純温泉</p> <p>◆乗合船・仕立て船</p> <p>TEL 六(三)一五〇〇</p> <p><b>旅館 千代の家</b></p> <p>大原 裕(高14期)</p> <p>湯浅IC・吉備ICから10分 JR湯浅駅より200m・徒歩3分</p>	<p>紳士専科</p> <p><b>赤のれん</b></p> <p>グループ</p> <p>エヤーズロック泉南店 スカイシティ2F 赤のれん 海南店 ジャスコ1F アプティ湯浅店 ユピア1F 赤のれん 御坊店 ジャスコ2F</p>
<p>湯浅町大宮通り (広岡) 焼肉道場 三 国 一</p>		<p>TEL.63-5700</p>	

# 新たななる発展のために



学校長 福田 行宏

同窓会員の皆様こんにちは。平素、本校教育の発展に多大のご支援を賜り、有り難うございます。在任中、松野前校長を中心に進められてきました本校の教育を継承し、新たななる発展のため、全力を尽くす所存です。何卒、よろしくお願い致します。

さて、今日の日本の社会を考えると、バブル崩壊後の不況、産業の空洞化等に見られるように、見通しの立たない不透明、不確実な部分が多く、一方で高度情報化、国際化、高齢化、少子化、核家族化などが進行しています。こうした社会の変化は、教育の世界に無縁なものではなく、様々な問題を提起しています。今後の教育を考える上で、こうした社会の変化を見通す必要があります。

(一)、国際化の進展に伴って、世界から信頼される日本人の育成は、学校教育に課せられた大きな課題であ

ります。国際交流は現代以上に深まることは確実です。異文化理解と日本人としてのアイデンティティの確立を目指す教育活動の展開が求められています。国際理解教育を本校の教育目標の一つとして地域の国際文化交流会とも連携しながら推進しているところです。現在二か国三校と姉妹校提携し、本年度は、文部省の「姉妹校交流」の研究指定を受けて新たに中国の学校との交流を具体化しています。

(二)、今日、情報通信分野の発展は目覚ましく、情報革命ともいべきマルチメディア時代を迎え、情報教育の推進は不可欠であります。本校では、情報処理技術と情報関連機器を活用できる実践的な知識と技術を習得を目標に教育活動を展開しています。また地域の方々にも学習の場を提供し、好評であるとともに関心が高いようです。

(三)、我が国は、少子化が顕著となっており、高校の生徒数も平成元年度をピークに平成二十年には大幅に減少すると推計されています。従って高校の将来像についての検討が緊急の課題であります。「量的な対応」から「質的な充実」を進め、特色ある学校づくりが求められています。本校も平成八年度末から特色ある学校づくりを指向しているところです。

(四)、学校週五日制の実施を契機に、学校・家庭・地域社会との連携と役割分担が提言されていますが、社会の変化によって少子化、核家族化が進み、地域社会における人と人との結びつきが弱まり、教育力が弱体化しているとの指摘があります。今、学校・家庭・地域が一体となって「生きる力」を身につけた生徒の育成に鋭意努力しています。

(五)、日本人の平均寿命は世界に例をみないほどの伸長ぶりであり、「経済白書」によると西暦二〇二五年には老年人口は全人口の二五・八%と予測し、社会保障給付費が国民総生産の約二十六%を占めるといいます。今後、高齢者の介護サービスに在り方が問題となってくると思われま

す。こうした状況を踏まえ、高校生のポランテア活動の必要性を視野に入れた教育が課題です。以上本校教育の現状の一端を述べましたが、変化の激しいこれからの社会では、自己を取り巻く環境に柔軟に対応し、主体的に判断し、行動できる力を身につけることが求められています。そのために、生徒たちに「生きる力」を育むために二十一世紀を展望した教育の推進に努める所存です。

本校が、四年後に創立百五十周年の輝かしい年を迎えますことは誠に意義深く、よろこばしく存じます。幾多の苦難の道程があり、それを経て今日に至っています。其の間、卒業された方々は実に二万五千余名の多きを数え、全国各地のあらゆる分野で活躍され、母校の名声を高めておられます。本校にとって喜ばしい限りであります。立派な歴史と伝統が受け継がれておりますのも、先賢、先師、同窓諸兄弟、関係機関各位のお蔭であります。物故せられた同窓諸兄弟の御冥福をお祈りし、深く感謝申し上げます。

熱帯魚&器具  
**中紀ペット**  
西邑 孝 (高4期)  
御坊市本町(千寿堂・2F)  
TEL (0738) 24-0133

**割烹 美屋 井**  
湯浅町2922 TEL 63-3640  
**仕出し 宮井料理店**  
湯浅町753 TEL 62-2207  
宮井慶三 (高7期)

**有田ト一ヨ一住器K.K.**  
山本昌美  
吉備町水尻697 (国道筋)  
TEL.(0737)52-6060(代)  
洋酒喫茶 **白夜**  
新川ゆみ (高30期)  
〒643-0005  
和歌山県有田郡湯浅町大字栖原197番地  
電話 (0737)64-0956

ケーキの店 **ヒロ・マルイチ**  
代表者 嶋村 悟  
海南市日方1290  
TEL.(0734)83-0567  
— 和洋菓子 —  
**マルイチ製菓舗**  
吉備町下津野 TEL.(0737)52-2117

# 《学校の進路状況》

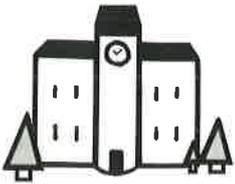
全国的に高校生の就職率が減少し進学率が増加しつつあるなか、本校の進路状況にもその傾向が現れている。(表参照)

なかでも去年、今年の卒業生の国公立四年生大学への進学率は高く(去年一二%今年一五%)で二年連続二桁パーセントを維持している。

特に今年の卒業生は一年次より六五分授業、コース制、二期制のいわゆる三点セットの教育システムの中で育った第一期生であり、教職員は勿論、各方面からその進路状況が注目されていたが、最後(三月)まで粘り強く健闘し、周囲の期待によく応えてくれた。

現役生徒九五四名も先輩以上に頑張つて、自分と周囲の期待に応えられる人間に成長してもらいたいものである。

進路実現に限らず、すべてにおいていま必要なものは、創始者の「自学自励」の精神と「耐久」の名に恥じない忍耐力ではなからうかと思われる今日この頃である。



平成10年3月卒業生・過年度生 大学・短大合格者数

	大 学						短 大						合 計
	国 公 立			私 立			国 公 立			私 立			
	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現	過	計	
男子	38	4	42	191	25	216	2	0	2	3	3	6	266
女子	13	1	14	86	12	98	11	0	11	66	0	66	189
合計	51	5	56	277	37	314	13	0	13	69	3	72	455

過去6年間の卒業生進路状況実数(平成10年3月現在)

	H5年			H6年			H7年			H8年			H9年			H10年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国公立大	16	11	27	21	17	38	15	17	32	14	10	24	22	21	43	34	13	47
私立大	81	48	129	92	45	137	82	47	129	73	42	115	76	63	139	80	56	136
短大	0	62	62	3	69	72	1	67	68	5	52	57	1	52	53	4	43	47
専修各種	20	36	56	18	39	57	28	28	56	17	31	48	25	37	62	15	28	43
公務員	10	2	12	4	5	9	1	1	2	2	2	4	3	1	4	0	1	1
就職	20	14	34	13	9	22	11	9	20	11	9	20	13	8	21	6	8	14
その他	64	14	78	53	18	71	46	7	53	25	16	41	21	15	36	19	7	26
合計			398			406			360			309			358			314

## 「同窓会文庫」の設置と卒業生の著書収集

昨秋、図書館の整備充実が完了し、パソコンによる蔵書管理システムが導入され、公立高校では県下で初めての試みとして、各方面から注視されている。

貸し出し手続きが簡素化されるほか検索も可能になり、利用する生徒も多く、「高校生の読書離れ」に歯止めがかかるものと期待されている。

尚、同窓会では図書館の更なる充実に協力すべく、このたび「同窓会文庫」の設置を計画、卒業生の著書の収集に取りくんではいる。

また、収集活動と併行して、図書への「善意募金」をも考えて居ります。

何卒この趣意に対してのご理解とお力添えをお願い申し上げます。

### OBにもカード発行

同窓生にも図書館を利用して頂く為に、カードを発行致します。希望者は、同窓会事務局までお申込下さい。

<p>湯浅町霊園指定 <b>(有)石吉石材店</b> 代表者 石家 繁(高18期) 湯浅店 和歌山県有田郡湯浅町大宮通) (自) TEL (0737) 62-3159 (工) TEL (0737) 63-6148 箕島店 和歌山県有田市箕島港 TEL (0737) 82-1247</p>	<p>湯浅町山田一〇一三 TEL (0737) 63-3769 中内祐也(高45期)</p>	<p><b>辻岡のり子ピアノ教室</b> 有田郡吉備町明王寺178-5 TEL (0737) 52-2540番 辻岡のり子(高20期) おしゃれの店 <b>ハマリ</b> 湯浅町本町 TEL.63-5551 平田昌子(高3期)</p>	<p>吉備町下津野一八六 TEL (0737) 52-2535 <b>江川酒店</b> 礼(アヤ)(高37期)</p>	<p><b>La Seine</b> 宮井昭治 大阪市阿倍野区阿倍野筋 4丁目21番5号 (4期生・津木産・岡崎)</p>
<p>—有田の地酒—</p>		<p><b>高垣醸造場</b></p>		<p>金屋町小川 TEL.(0737)34-2109</p>

# 特集 「耐久」の謂れ

元教諭 森三男三郎



耐久。「長く持ちこたえること。ながもち。」と広辞苑に書いてある。

関西の某大学の入試の面接の時の会話。試験官(史学部教授)「君の出身校は耐久高校だね。」「はい、そうです。」「創始者の名前は。」「知りません。」「知らないのか。文豪『小泉八雲』の著に出て来る『浜口梧陵翁』だよ。」  
公立学校の校名は概して地名を冠しているようだが本校は「耐久」。どうしてであろうか。また、それに恰好の校歌や教育理念などはどうであろうか。周知の事と思われるが、「耐久校史」を参考にして、略記してみよう。

「浜口梧陵」が同郷の有力者二人と計り、広村田町に稽古場を開いたのは嘉永五年(一八五二年)であった。当時は欧米諸国の植民地政

学舎教育三綱領」を定め、教育方針を明らかにした。即ち、「実用の智識の養成と活才。」「徳育に意を注ぎ着実敦厚の風の高揚。」「儼然たる気象の重視。」である。

更に明治三十七年(一九〇四年)三月四日に中興の祖と仰がれた宝山良雄学長が来任。耐久学社教育の根本理念として

真 真理を研究し言行を誠実にすべし。  
美 情操を涵養し徳義を尊重すべし。  
健 心身を鍛練し意志を鞏固にすべし。

の有名な三綱領を制定。そして、三一会の結成。労働会の組織。三星章に至るまで、「真」「美」「健」の三綱

領で貫いた。其後、明治四十年(一九〇七年)の中学令による私立耐久中学への昇格。大正九年(一九二〇年)の県立移管による県立耐久中学校。昭和二十二年三月公布された学制改革により、旧耐中、有田高女を統合して、新高校に発展。校舎は有田高女に設置されたが、「耐久」の校名は困難な事情を排除して、そのまま保持されたのである。なお学校で発行される会報も明治三十九年(一九〇六年)七月十日第一号創刊以来「三一会報」と名づけられていたが、昭和八年二月二十五日発刊のものから「耐久」と改題。今日に至っている。

校歌に關しても、明治三十六年(一九〇三年)五年制実施と共に、学校教育の理念を表象するものとして作られ、旧耐中の終期まで歌われた「浜口恵璋」師の校歌には「はげみ進みて久しきに耐ゆとうことを忘れざれ」の一節があり、昭和二十三年清水康夫先生作詞の現高校々歌にも「耐うとうことを胸にひめ」及び「讚えよ耐久吾等が母校」の語句がちりばめられている。「耐久」とは荏苒と旧態に沈滞することではなく、伝統の伸長発展へと進取の氣象をもって不断に精進することだろう。(旧中28期生)

森三男三郎先生のプロフィール  
母校を訪れた方はぜひ正面玄関ホール左に設置されたガラス張りの展示棚をご覧ください。相撲部全国優勝の賞状とともに記念写真が収められているが、まわし姿の部員たちに囲まれてりりしい背広姿で写っているのが筆者森三男三郎先生である。  
先生と耐久との直接のつながりは、先生が旧制耐久中学の28回生として青春を送られたときに始まると拝察するが、昭和21(1946)年教諭として着任以来先生は旧制耐久中学・新制耐久高校を通じて常に耐久とともに歩んで来られた。  
全国に名をとどろかした相撲部部長としての活躍、創立120周年記念出版『耐久校史』のご執筆(先生は高校編を担当執筆された)などの業績を知る人は多いと思うが、厳しく強靱な精神を暖かい人間味に包んだ先生の日々に積み重ねられた教師としての膨大な功績は“知る人ぞ知る”であろう。常に生徒の中に身を置き生徒とともにあって教育しようとした先生の姿は、たまたま「本会誌第1号」に寄稿いただいた現東京大学医学部教授谷口維紹さんの筆によって、意義深かった高校時代の思い出として描かれている。  
先生は長く耐久とともに歩まれ、その存在はまさに「耐久精神」を具現しているとも言うべき人。現在は始業・終業のチャイムがすぐそこに聞こえる耐久高校の近隣に居を構えられ、耐久の行方を見守っておられる。



(注) 荏苒：何もせずに



### 耐久中学校 37期生同窓会

去る四月二十三日、国民宿舎湯浅城で二年ぶりに三十七期生の同窓会の集いがあった。昭和十九年の卒業だから、今年で五十四年になる。当時は一学年二クラスで、全員で九十四名、うち物故者が二十一名、出席者四十名、古稀という年齢からみて、かなりの出席率であった。

我々、三十七期生は戦前最後の卒業生で、中学五年間は軍国日本の真っ只中とその崩壊の直前であった。今回の同窓会を機会に、「耐久校史」や校誌「耐久」を調べ当時の教職員の名簿と学校行事を年表にしてまとめたが、全く軍事色一色にぬりつぶされた当時の情景が浮かんでくる。在学五年間に果たして青春と呼ぶにふさわしいものがあったのだろうかと自問して見た。

軍事教練の外に遠泳やマラソン大会、体育大会、学芸会、個性豊かであった先生方の授業、仲間との思い出、そして登校下校のときにすれちがった女学生たちの

姿。物質的に豊かで自由な現在の若者たちと比べると、あまりにも殺伐で、未来への希望が閉ざされた時代であったにせよ、それらすべてがまぎれもなく我々の青春であったことは、半世紀以上の長い年月が過ぎて、この同窓会で再会を喜ぶ級友の生き生きとした表情や話が、それを物語っていた。今は亡き友を悼み、病に倒れた人を気遣い、互いの友情と日々の生活を大切にしたいという気持ちがあふれていた。なお今回欠席された人にも、会の報告と名簿・写真を全員に送り、たいへん喜ばれた。次回は二年後に開く予定である。

(小楨清嗣記)



### 旧中42期生と 同窓会の記

私たちが、同窓会を毎年開くようになったのは、いつからか定かではないが、もう十何年か続いている。

終戦を迎えたのが中学三年の八月、当時中学校は五年制だったので、ちょうど真ん中が戦中戦後の岐かれ目となった。いつも集まると声を張り上げる校歌も、入学時の「すめらぎの」と、戦後復活した「たたふる波も那耆の海」のふたつがあつて、今もどちらが先ということなく歌われているのも激変の時代の名残りのひとつ。混乱の中やがて卒業となるが、大部分は旧制中学で卒業し、内一クラスほどがその後今の校舎に移って高校一期生となった。そんなわけで、私たちは那耆湾頭の松林に囲まれた耐久学舎最後の卒業生となった。と同時に、「野郎ばかりの同窓会」最後の学年という名譽も担っている。同窓会が毎年当然のように開かれているのは、一つには地元湯浅にいつも熱心なのが何人かいてくれること。もう一つは、年に何度か有田市内某所に集まって、飲みかつ



歌う同級生十数人の自然発生的集団があつて、発起人会などを開かなくても、開催日時など、そこで決められる便利さなどもあるのではなからうか。

なお、戦後の混乱期で、色々な事情で卒業出来なかった仲間も多いので、積極的に呼びかけて参加してもらっている。また、昨年の会では、ご存じサミエル・ウルマンの「青春とは」の詩がみんなに配られた。今年も和歌浦で開かれる予定である。(有田市 児島)

**安易な間違い御免!**  
第一号で紹介した「弁当呪文」の第一項中、「安からざるを思う」は「易からざるを思う」の誤りでした。汗顔の至り、ご訂正のほどを！  
(斎藤)

<p>洋菓子のお店 <b>ミツムラ</b> 湯浅町蔵町(倉庫)六三三・五八九・三三 TEL(077)766-2113・三三六二</p>	<p>NAKAHIRA <b>中平建設株式会社</b> 代表取締役 中平 武治 ■本社/和歌山県有田郡湯浅町湯浅1429番地 TEL/0737-64-1717(代) ■和歌山支店/和歌山市毛見112-1番地 TEL/0734-46-2077</p>	<p>ママ美しく—パパ元氣! <b>小野田薬局</b> 湯浅小学校西 ☎(代表) 62-2324 地域サービスに努める 朝日新聞サービスアンカー <b>ASA 湯浅</b> 湯浅町湯浅1670-4 所長 佐藤 均 ☎63-4392 FAX 62-5058</p>	<p>割烹 <b>川島</b> 川島翠子(高3期) 吉備町下津野四五八 TEL 〇七五二一三二六八</p>	<p><b>吉田被服工業株式会社</b> 代表取締役 吉田 俊彦(高4期) 米子市和田町3005 TEL (0859) 25-0888</p>
<p>湯浅町大宮通り (広岡) 焼肉道場 三 国 一 TEL.63-5700</p>				



# 有田高女 東京支部同窓会記

平成十年度の有田高女東京支部同窓会は五月十八日ホテル・ニューオータニイン東京で開かれました。



前日よりご来京の松本・竹中両先生をはじめ、十三期千川さん、二十二期の伏木・奈良さん、二十六期の杉原・高垣・名島・野中・森田さんなど十名の方が、はるばるお越し下さいました。支部からの出席者は三十二名でした。当日は少し雨模様でしたが、皆さま早々とお集まりのようでした。正午に開宴し、司会は二十六期の山田さん。

松本先生九十一歳の今なお衰えぬ明晰な頭脳に感動し励まされ、竹中先生の来年は数えで八十歳になりましてというお話に驚きの声が上ががり、宴は賑やかに始まりました。

支部長村井さんから、この一年の支部会員の動静について報告があり、伏木さんの乾杯の音頭で杯をあげました。あとは、それぞれ同期生達が和気あいあい、心弾む話し声笑い声が、あちらこちらから上がって楽しい時間が過ぎました。今年は六期(八十九歳?)の中前さんと久保田さんが元気なお顔を見せて下さり嬉しいことでした。

二時記念撮影(二十三期の田中さんが労をとって下さいました)

最後に、二十二期名島さんの指揮で、「校歌」と「丘の桜」を斉唱して一応おひらきになりました。

あとは、ホテルのロビーやティールームなどで二次会を楽しむグループもいくつか見受けられました。

皆様お帰りの頃には雨も上がり、ホテルのアプローチ

チの緑に明るい陽も射して、幹事一同ほっとしたことでした。

来年五月の母校での総会には、東京から是非出かけてゆきましようとして、この年のお役目を終わらせて頂きました。

二十六期・二十七日

幹事一同

丘の上の校舎今なく

遠き日の思い出を

今日は集い来て語る

## 高女二十六期生の集い

集い

私達の女学校時代は、戦中・戦後の混乱期で、修学旅行も出来ないままの卒業でした。そこで還暦の年に修学旅行をしようと、

有田市の皆さんのお骨折で、東京箱根方面へ、二泊三日の旅を致しました。それ以来毎年泊を伴う同窓会をしております。今年も、吉備町の皆さんのお世話で、北陸の旅に出かけました。

長いバスの道中では、おしゃべり、カラオケ、漫談と、笑いの渦。何を言っ

## 同窓の絆



もこだわりのない集いに、心の皺が伸びる思いでした。旅館では又、まるで演芸大会ほどの出し物に、時間の経つのも忘れて、和やかな楽しい時を過しました。

観光先の兼六園では、サツキが満開。園内を流れる曲水には、濃紫のカキツバタが新緑に映え、小雨に彩を深めた苔も、一段と美しく、その静かな風情に、心

那谷寺も、森の中のおちついた寺院で、ここでも又、苔の美しさを満喫。白い岩

山の中の観音菩薩からは、無言の説法が聞こえてくるようで、有難く心洗われる思いでした。最後に、伝統工芸村「ゆのくにの森」に立ち寄り、本場ならではの伝統美にふれながら、買い物を楽しみました。

今回、お母様の看取りを終えて、何十年ぶりに参加された方が、帰り際に、幹事さん達の行き届いたお世話と、同窓生の温かいつながりに感動して、挨拶をされましたが、胸にじんときたのは、私だけではなかったと思います。

何よりもすばらしい同窓生の絆を、いつまでも大切にしたいものです。年と共に健康に自信がなくなる昨今ですが、来年も又元気でおい会い出来るよう念じています。

**幹事必見!!**

天然温泉 泉風呂  
名物ジャングル風呂  
露天風呂

**280名収容大宴会場**

紀州有田温泉  
**有田観光ホテル**

ご一報をお待ち申し上げております...

**TEL.0737-82-5201(代)**

### 話に花を咲かした同級会

平成十年三月一日、湯浅城にて第十期生九十四名が参加、恩師木坂、浦、蓮沼森先生、橋本同窓会長を迎え、盛大に開催しました。

なんとたつて四十年ぶりですからね！我々十期生は、あの高度成長を支え、我武者羅に働いた仲間達であり、もう話、話、に終始し、童心に返り古里に酔い痴れた一日でした。

反響の一部を紹介します。四十年の歳月が一瞬の間にタイムスリップした、夢のような一日、でした。(鎌倉市在住、鬼塚弘子、旧姓鎌田、湯浅町出身)

今回参加出来ませんでした。が次回を楽しみにしています。(愛知県小牧市在住、西山 武、由良町出身)

次の開催は、私達に任しといてね！(世話人 蔵本貞治郎 山崎マサコ外 恩師から一言、一言)

・耐久の校歌をしみじみ歌いました。とにかくロマンの多い時代でした。

(木坂 登 和歌山市在住)  
・趣味を持つこと。歩くこととつせ！(浦 馨 旧姓花畑、堺市在住)

## ★10期生40年目の集い★



・耐久は最初の赴任の地であり、特に愛着を感じています。(蓮沼庄吾、和歌山市在住)

・万障を超えて集まる同期生

その温情に涙滲むも 教へ児も

還暦近きクラス会 懐旧の華さぞや実らむ (森 三男三郎、湯浅町在住)

・会員の皆様から多大のご寄付をいただき、有難うございました。有効に活用させていただきます。

(同窓会長 橋本佳巳) (文責 池永裕夫)

### 還暦後は 二年ごとに 高7期

高校7期同窓会(三十年卒)では、これまで四年ごとのオリンピックの年に同窓会を実施してきたが、還暦をむかえて、大阪国際ホテルで開催した時、次回から二年ごとに開催することを決定すると共に、次の三点を申し合わせた。

- ① 次回一九九九年には紀南へ一泊旅行をする。
- ② 会合は相互交流で楽しい会にするために、みんなで智恵を出し合う。
- ③ 各クラスの世話役(約二十名)の会を開く。

・還暦に入れど

老いにはまだはやく校歌歌えば若人となる

・それぞれの人生

語り唄い合い集えば時の過ぎるを忘る

(広報係 戎 和男)

化学製品販売  
**小畑産業株式会社**  
賃貸マンション  
**ブリリアント本町**  
和歌山市本町3-16 小畑 英三(高18期)

---

お弁当の **さおじ**  
耐久高校 校内ホール・各種弁当 ホッカホッカの味  
有田市箕島15 TEL.(0737)82-2574  
雑賀清秀(高27期)

フジカラープリント 上  
ハイスピード仕 各種写真撮影カメラ・フィルムバム

**小泉写真店**  
湯浅大宮通り  
TEL.(0737)6315500  
小泉 博(高26期)

**橘 栄**  
Wedding Hall  
TACHIBANA  
有田市宮原町17

ご予約は  
**TEL.0737-88-7005**  
**FAX.0737-88-7775**

キリンビール特約店  
**(有)千川商店**  
湯浅町大宮通り  
TEL.(0737)621133三八

FRESH BAKERY



フレッシュベーカーリー  
**スエヒロ**  
箕島平尾町  
TEL.0737(82)3320

青春時代にタイムスリップ  
伊豆修善寺での  
同窓会

入梅にはまだ程遠いのに  
今年には雨の多いこと、そんな異常気象でも日頃の精進がよいのか五月二十二〜二十三日一泊二日の旅は晴天に恵まれた。

頭髮に白いものが増えた私達ですが、何時もふる里での同窓会が多いなか、ここ二〜三回前から、遠くから参加して下さっていた方々にお世話をお願いして会合をひろげようと言ったことで、今回は静岡県修善寺の「かんぱの宿」修善寺に四十一名が集った。

富士は冬が一番と教えられたが眺望のよい宿、長期滞在者があって四十一名の宿泊が難しいようだったが東京組十名の尽力で素晴らしい同窓会に実ったのがうれしかった。ここは三島から南へ二時間、伊豆の踊子に出会っても不思議でない、みどりの町、人口一万六千人、清流桂川(かづら)の支流を挟んで温泉郷が現れてくる。伊東と背中合わせだが、地盤がしっかりしていて



震には強いと聞いた。川の中央には弘法大師が諸国行脚中病父を洗う少年をみて仏具で岩を打ち霊湯を湧出させたと言う泉源「独鈷の湯」がある。一二〇〇年の歴史のある、ここは源氏一族のゆかりの地であり、「修善寺物語」の舞台でもある。こんな町で夜更けまで語り、歌い、手づくりの衣装で踊ってくれた女性のバイタリティに圧倒されそう。郷土のこと友人の消息、学生時代の話に花が咲く。何か心がリフレッシュして新しいエネルギーが湧いてくる同期生ならではの体験、今回は二年後京都での約束をし校歌を歌って別れた。(蔵野)

中井由純氏

国際画壇で大活躍



今春、本校を定年退職された中井由純教諭(美術科)は昨年から今春にかけて国際的に大活躍。

昨年はイタリアの「フィレンツェ美の奇蹟展」でグランプリ大賞、AMSC名

◆表紙の解説  
保田龍門作「裸婦」

裸婦は学校にふさわしくないとして、後日薄着を描き加えさせられたいわく付きの保田龍門の作品であるが、長い間図書館の書庫に放置されていたところを、当時の美術の教師(中井由純教諭)により発見された。(二十数年前)  
その後、修復されて現在、同時に発見された龍門の他の一点「みかん娘」と共に校長室に飾られている。

賞総裁賞(スペイン・フランス・ベルギー)へ一九九六年〜一九九七年にかけて国際的に活躍したことに對する表彰を受彰。十一月には海外美術交流協会から「国際指導員」と「名誉教授」に推せんされた。

今年に入って「第十七回ベルサイユ祭特別賞」を受賞。また、九八年アブルツオ国際美術展(イタリア)へ出品。平成芸術大賞を受賞。(高8期)

不思議な唄

母が死んで十七年やと子供の頃よう聞いたんやいしよ  
へジャジャテ コンジュー テーコテーコ  
テコジャ スイジャン ジャジャテコ  
スイホウ スイジャン  
更に続くんやいしよ  
へジャジャウジュウジュ  
コンジュー コンジュー  
ジャジャテ コンジュー  
どこの何の唄かわからず終い腹抱えて笑い転げたで懐かしいわいの母の  
思い出やいしよ

西邑 孝(高4期)

National/Panasonic  
アヴェニュー・ひがし  
東 征治 (高9期)  
広川町広 (代) 64-0088  
本と文具の店  
赤善書店  
赤桐 あい (高女21期)  
TEL (0737) 62-2946  
FAX (0737) 63-6858

静かな茶房で憩のひとときを  
  
和歌山県湯浅町駅前  
有田ビルB-1  
茶房 ニュー 有 田  
TEL (0737) 63-0123

山本建商(株)  
山本昌美  
湯浅町吉川七三  
TEL 六三二四三三三三

サーバント  
取締役 新川 ゆみ (高30期)  
〒643-0005  
和歌山県有田郡湯浅町大字栖原765番地  
電話 (代) 0737-63-2470  
携帯電話 010-4828-010  
総合建設業  
株式会社 保田組  
和歌山県有田市辻堂446  
TEL (0737) 82-5211  
FAX (0737) 83-3679

和生菓子  
なれ奉し つるや  
川野益弘(高16期)  
有田郡湯浅町湯浅一〇〇〇一  
TEL 〇七三七七六二一三三四

七十八歳

熊野古道を征く

黍原 三郎

昨冬、いま話題の熊野古道を歩く機会を得た。老齢なるが故の苦痛はあつたが、杖の助けを借りて一日の行程を踏破することができた。

当日の感懐を漢詩に託して回顧してみた。ご笑覧のほどを！

畏<sup>れ</sup>拜<sup>す</sup>地<sup>蔵</sup>菩薩<sup>堂</sup>

手<sup>書</sup>の<sup>二</sup>仏<sup>像</sup>大<sup>岩</sup>妝<sup>一</sup>

聞<sup>説</sup>大<sup>師</sup>生<sup>爪</sup>刻<sup>一</sup>

蓋<sup>二</sup>禱<sup>行</sup>人<sup>往</sup>復<sup>康</sup>

蕪坂峠を有田川に向かつて下る急坂の途中に一堂があり、弘法大師自らの爪にて彫つたと伝えられる仏像が二体。古来「爪書地藏」と称せられ、熊野に向かう旅人の安全を願う仏として崇められているという。

私も思わず手をあわせ、皆から少し遅れた行程を有田河畔へと急いだのであった。(昭和十三年卒業第31期生)

奉<sup>送</sup>天<sup>皇</sup>死<sup>州</sup>御<sup>行</sup>に<sup>際</sup>して<sup>一</sup> 作<sup>聖</sup>聖<sup>明</sup>山<sup>本</sup>英<sup>世</sup>  
奉<sup>迎</sup>御<sup>巡</sup>幸<sup>一</sup>  
欣<sup>欣</sup>四<sup>海</sup>一<sup>天</sup>晴<sup>一</sup>  
瑞<sup>氣</sup>街<sup>頭</sup>万<sup>感</sup>生<sup>一</sup>  
駕<sup>鷹</sup>聖<sup>代</sup>旗<sup>影</sup>暖<sup>一</sup>  
西<sup>効</sup>一<sup>路</sup>訪<sup>秋</sup>行<sup>一</sup>  
(七十九年八月庚申)



有田総合庁舎耐久会の皆様



同窓歌壇

・ 頭髮の白きも薄きも酔うほどに  
恩師につけし緯名飛び出す  
・ 遠き日の那書の浜風幻聴に  
肩組み歌う学舎の校歌  
・ 相共に命愛しみ合うことを  
宝となして再会約す  
畑中邦雄(旧中38期)

・ ひとつ事成りつつありて夫と吾  
炎ゆる没り陽にしばし侍む  
・ 背高き枉の涯にからまりつく  
のうぜんかずら熱き陽に光る  
中内京子(高15期)



Echo!

・ 一気に一行ももらさず  
読ませて頂きました。  
そして、よくぞ発行して下さった。が私の今の気持。  
・ 耐久のルーツ浜口家に於ての初会合：ニューウェーブの意気込みが感じられました。いつか浜口家の「特集」を…  
・ 「ふるさと」や「母校の目に見えぬ力を気づかせてもらえた様な気がしました。(高12期女)  
・ 同窓会報有難う。軽少ですが「同窓会文庫」の基金の足しになれば幸いです  
・ 創立一五〇周年近しと教えられるました。四〇年ぶりの同窓会の残余です。(会の一助にと、大枚を下さいました。)(高10期女)  
・ 谷口教授の特集「我が母校耐久高校」はすばらしい。そして先生の時代背景のメモはこれ又大ヒット。(女性)  
・ 「賛助広告は遠慮せず」に言つてこいよ…。(男性)

『編集後記』

数年振りに発行した前回同窓会報「耐久」No.1は当初四、〇〇〇部印刷し、幹事・評議員を始め、官公庁・学校・農協・東燃等の企業の同窓諸兄姉に配布したところ、各方面からご好評を頂き、さらに一、〇〇〇部増刷しました。そのことに勇気付けられ編集委員一同「さらにパージョナアップ」を合言葉に今回No.2の発行となりました。新しい役員体制のもと、同窓会組織の強化・活性化及び会員相互の情報交換等に少しでも役立てればと考えています。  
資金集め・記事集め等々前回の経験が生かされ少しうまいくようになりましたが、今回もまた多くの方々のご支援・ご協力でなんとか発行することができました。色々と多忙な中、執筆・投稿していただいた方々、また広告掲載を快くお引き受けいただいた方々、本当にありがとうございました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。  
・ なお編集委員では各期同窓会だよりや皆様方の声欄・趣味紹介・思い出・恩師等のコーナーを設けて紙面の充実を考えていますが、より良い会報作りのためにも会員の皆様方からのアイデアや多数のお便り・投稿をお待ちしています。